

Annual Report 2020

Center for Professional Development in Nursing
Kyoto Tachibana University

京都橘大学
看護教育研修センター

年報 2020

INDEX

刊行にあたって 3

沿革 5

組織 10

認定看護師教育課程 11

キャリア開発事業 15

刊行にあたって

京都橘大学看護教育研修センター所長

奈良間美保

京都橘大学看護教育研修センターは、「看護職者の専門性を高め、その看護実践力を向上させるための教育研修を行うとともに、地域に貢献する看護職者を育成する」ことを目的に、2007年に設立されました。その後、事業内容を発展させて、現在は認定看護師教育課程と看護キャリア開発事業の二本柱で活動しています。2020年度は、図らずもCOVID-19の拡大により、世界規模で人々の活動の自粛や価値観の変容を余儀なくされました。本センターもその影響を大きく受けることとなりました。ここでは、本センターの概要をご紹介します。今後の活動について触れたいと思います。

京都橘大学は2005年に看護学部を設置し、現在に至るまで、年間約100名の看護職を輩出してきました。本学の看護学部は、多くの病院や保健機関、福祉施設等のご協力のもとに成り立つ教育課程であり、大学として関係機関等の要請に応えられる活動基盤をもつことの必要性から、本センターが設置されました。それには、医療の急速な進歩、或いは看護に期待される役割の多様化に対して、基礎教育を終えた看護職に継続教育の機会を提供することが大学の使命であるという考えが根底にあったと思います。

[認定看護師教育課程]

本センターは、2007年、認定看護師教育課程設置とともに始まり、これまでに皮膚・排泄ケア分野において387名の修了生を輩出しました。今年度は感染拡大を受けて、例年より時期を遅らせた開講となりましたが、皆様のご協力により年度内に教育課程の修了を遂げることができました。現在の認定看護師教育課程（A課程）は今年度が最終年度となります。2022年度より、特定行為研修を組み込んだ新たな教育課程（B課程）として、研修生をお迎えする予定です。2021年度は、このような取り組みを通して、社会の要請に応えるセンターであるための準備期間とさせていただきます。

[看護キャリア開発事業]

本センターのもう一つの役割である看護キャリア開発事業についてご紹介します。認定看護師教育課程を継続する中で、2012年に本事業が始まりました。京都府看護協会、並びに滋賀県看護協会、近隣病院への聞き取り調査等に基づき、看護職の継続教育としての事業計画が立てられました。その後、現在に至るまでの間、研修プログラムの作成と評価が積み重ねられ、現在は、たちばなSIM、看護倫理研修、学修成果レポート作成スタート支援講座の3つの活動に取り組んでいます。

まず、看護キャリア開発事業として、たちばなSIMをご紹介します。本活動は、2012年度からスキルラボ事業として始まりました。保健医療の場で活躍する看護学部の卒業生を支援する事業であり、働きながら身につけた知識や技術を改めて確認し、その向上を目指します。多くの卒業生にとって大学は安心できる場であることから、教員や他の卒業生とともに、シミュレーションを取り入れた学びなおしとして活用されています。現在は、卒業生とともに勤務する看護職にも対象を拡大することで、より幅広い社会貢献を果たせるよう取り組んでいます。来年度は2020年に清優館1階に整備されたシミュレーション・コモンズ（Citrus SIMCO）を活用した研修を計画しています。是非、楽しみにしていただきたいと思います。

2018年度より、看護キャリア開発事業に新たに看護倫理研修が加わりました。日常の看護実践の中で、看

護師自身に生じやすい心の揺れや戸惑い、疑問などに改めて向き合い、他者と共有し合う場を提供し、倫理の視点からディスカッションを行います。このような研修は、看護の経験年数を問わず有意義であるとの手ごたえを感じています。始めて間もない本プログラムを多くの看護職に活用いただくことで、より効果的な企画の検討に繋がりたいと考えております。

看護キャリア開発事業は、実践力の向上とともに看護職のキャリア形成の支援も行っています。学修成果レポート作成スタート支援講座では、2012年度から開設された健康科学部心理学科通信教育課程の科目等履修生の看護学コースを受講し必要単位数を取得した方に、大学評価・学位授与機構に提出する学修成果レポート作成における支援を行います。2013年から始めて、毎年、多くの方に応募いただいている事業です。短期大学、或いは専修学校等を卒業した看護職も多い中で、学位取得を目標に置いた研修への社会的期待は大きいと言えます。本講座は、そのようなニーズに応えることはもとより、論理的思考で看護をとらえなおす機会をもつという点でも意義があると思います。

本センターが設置されて13年が経過しました。この間、社会情勢の変化に応じて事業内容は少しずつ変化を遂げてきました。特に、今年度はCOVID-19の影響を受けて、看護キャリア開発事業はほぼ全面的に中止となりました。苦渋の決断ではありましたが、この経験を活かして、2021年度の事業に繋げて行きたいと考えています。本センター発足時に描いた卒業生の支援と地域貢献を目指した理念は変わることはありません。卒業後の看護の専門性や実践力を高める支援を大学の使命と位置づけた本センターの役割は今後も重要であると考えています。これらの事業を安全に確実に提供することで、看護職の早期離職の予防や健全なキャリア形成の一助となることを願うばかりです。また、本学看護学部が目指す「人によりそう看護」について、社会で活躍する卒業生とともに確かめ合い、発展させることができるとすれば、より広い意味での社会貢献に繋がるのではないかと考えています。

沿革

1) 認定看護師教育課程 教員会

開催時期	内 容
2007年度 4月 17日 11月 27日	入試・入学状況と年間計画 修了判定会議と次年度入学までの予定確認および承認
2008年度 4月 23日 11月 26日	入試結果、入学状況、年間教育実施計画および次年度予定について内容の検討と承認 修了判定会議と次年度予定確認および承認
2009年度 4月 22日 12月 15日	2008年認定部審査結果、2009年度入試結果、入学状況と年間教育実施計画の検討 および承認 2009年度生の修了判定会議、2010年度入試結果の確認および承認
2010年度 4月 21日 12月 7日	2010年度入試結果、入学状況と年間教育実施計画の検討および承認 再修了試験不合格者に対する対応について審議 修了生を含めた皮膚・排泄ケア認定看護師を対象としてフォローアップセミナー開催について検討 および承認 2010年度生の修了判定会議、2011年度入試結果の確認と承認
2011年度 4月 27日 12月 14日	2010年度修了報告および2011年度入試結果について確認と承認 年間教育実施計画の検討および承認 2011年度生の修了判定会議、2012年度入試結果の確認と承認 休学者が復学する場合の条件等について検討と承認
2012年度 4月 18日 12月 18日 2月 14日 (臨時)	2011年度修了報告および2012年度入試結果について確認と承認 フォローアップセミナーを含む年間教育実施計画および皮膚・排泄ケア分野カリキュラム改訂につ いて検討および承認 2012年度生の修了判定会議、2013年度入試結果の確認と承認 開講期間延長について審議 修業年限・課程の終始期・入学資格に関する規定改訂内容について審議および承認 情報管理誓約書、教員会規定改訂について審議および承認、長期欠席規定については 継続審議となる
2013年度 4月 25日 12月 19日	2012年度修了報告および2013年度入試結果について確認と承認 年間教育実施計画の検討および承認 2014年度5月開講について審議および承認 2013年度生の修了判定会議 実習不合格による再履修希望者について審議および承認 授業時間変更について審議および承認 授業時間に関する規定改訂内容について審議および承認 2014年度入試結果の確認と承認
2014年度 4月 23日	2013年度修了報告および2014年度入試結果について確認と承認 年間教育実施計画の検討および承認 センター教員の社会貢献活動報告および2014年度の計画の報告 第4回フォローアップセミナー開催について検討および承認

開催時期	内 容
2014年度 12月 9日	2014年度生の修了判定会議、2015年度入試結果の確認と承認 2015年度教育期間の確認と承認
2015年度 4月 22日	2014年度修了報告および2015年度入試結果について確認と承認 年間教育実施計画の検討および承認
12月 10日	センター教員の社会貢献活動報告および2015年度の計画の報告 2015年度生の修了判定会議、2016年度入試結果の確認と承認 2016年度教育期間の確認と承認
2016年度 4月 20日	2015年度修了報告および2016年度入試結果について確認と承認 年間教育実施計画の検討および承認 皮膚・排泄ケア分野カリキュラム改訂について確認と承認
12月 13日	センター教員の社会貢献活動報告および2016年度の計画の報告 2016年度生の修了判定会議、2017年度入試結果の確認と承認 2017年度教育期間の確認と承認
2017年度 4月 19日	2016年度修了報告および2017年度入試結果について確認と承認 年間教育実施計画の検討および承認 皮膚・排泄ケア分野カリキュラム改訂について確認と承認
12月 15日	センター教員の社会貢献活動報告および2017年度の計画の報告 2017年度生の修了判定会議、2018年度入試結果の確認と承認 2018年度教育期間の確認と承認
2018年度 4月 18日	2017年度修了報告および2018年度入試結果について確認と承認 年間教育実施計画の検討および承認
12月 13日	センター教員の社会貢献活動報告および2018年度の計画の報告 2018年度生の修了判定会議、2019年度入試結果の確認と承認 2019年度教育期間の確認と承認
2019年度 4月 17日	2018年度修了報告および2019年度入試結果について確認と承認 年間教育実施計画の検討および承認
12月 12日	センター教員の社会貢献活動報告および2019年度の計画の報告 2019年度生の修了判定会議、2020年度教育期間の確認と承認
2020年度 4月 15日	2019年度修了報告 年間教育実施計画の検討および承認
2月 10日	センター教員の社会貢献活動報告および2020年度の計画の報告 2020年度生の修了判定会議、2021年度休講に関する確認と承認

2) 看護キャリア開発委員会

2012年度

4月	16日	第1回看護キャリア開発委員会	
5月	7日	第2回看護キャリア開発委員会	
6月	7日	第3回看護キャリア開発委員会	
7月	3日	第4回看護キャリア開発委員会	
7月	31日	第5回看護キャリア開発委員会	
9月	19日	第6回看護キャリア開発委員会	
10月	16日	第7回看護キャリア開発委員会	
11月	20日	第8回看護キャリア開発委員会	
2013年	1月	16日	第9回看護キャリア開発委員会
	2月	19日	第10回看護キャリア開発委員会
	3月	19日	第11回看護キャリア開発委員会

2013年度

4月	17日	第1回看護キャリア開発委員会	
5月	21日	第2回看護キャリア開発委員会	
6月	17日	第3回看護キャリア開発委員会	
7月	23日	第4回看護キャリア開発委員会	
9月	18日	第5回看護キャリア開発委員会	
10月	23日	第6回看護キャリア開発委員会	
11月	27日	第7回看護キャリア開発委員会	
2014年	1月	22日	第8回看護キャリア開発委員会

2014年度

4月	23日	第1回看護キャリア開発委員会	
5月	29日	第2回看護キャリア開発委員会	
7月	23日	第3回看護キャリア開発委員会	
9月	17日	第4回看護キャリア開発委員会	
11月	4日	第5回看護キャリア開発委員会	
2015年	1月	6日	第6回看護キャリア開発委員会
	3月	5日	第7回看護キャリア開発委員会

2015年度

4月	15日	第1回看護キャリア開発委員会	
5月	27日	第2回看護キャリア開発委員会	
7月	6日	第3回看護キャリア開発委員会	
9月	10日	第4回看護キャリア開発委員会	
10月	14日	第5回看護キャリア開発委員会	
11月	27日	第6回看護キャリア開発委員会	
2016年	1月	6日	第7回看護キャリア開発委員会
	2月	10日	第8回看護キャリア開発委員会

2016年度

4月	5日	第1回看護キャリア開発委員会
5月	23日	第2回看護キャリア開発委員会
6月	20日	第3回看護キャリア開発委員会
8月	3日	第4回看護キャリア開発委員会
9月	21日	第5回看護キャリア開発委員会
10月	24日	第6回看護キャリア開発委員会
12月	2日	第7回看護キャリア開発委員会
2017年	2月 15日	第8回看護キャリア開発委員会

2017年度

4月	18日	第1回看護キャリア開発委員会
5月	23日	第2回看護キャリア開発委員会
7月	12日	第3回看護キャリア開発委員会
9月	26日	第4回看護キャリア開発委員会
10月	30日	第5回看護キャリア開発委員会
12月	18日	第6回看護キャリア開発委員会
2018年	2月 16日	第7回看護キャリア開発委員会

2018年度

4月	17日	第1回看護キャリア開発委員会
7月	11日	第2回看護キャリア開発委員会
9月	19日	第3回看護キャリア開発委員会
10月	16日	第4回看護キャリア開発委員会
11月	21日	第5回看護キャリア開発委員会
2019年	2月 18日	第6回看護キャリア開発委員会

2019年度

4月	23日	第1回看護キャリア開発委員会
5月	27日	第2回看護キャリア開発委員会
6月	27日	第3回看護キャリア開発委員会
9月	6日	第4回看護キャリア開発委員会
10月	4日	第5回看護キャリア開発委員会
12月	6日	第6回看護キャリア開発委員会
2020年	2月 7日	第7回看護キャリア開発委員会

2020年度

4月 第1回看護キャリア開発委員会

5月 第2回看護キャリア開発委員会

7月 22日 第3回看護キャリア開発委員会

11月 2日 第4回看護キャリア開発委員会

2021年 1月 18日 第5回看護キャリア開発委員会

2月 15日 第6回看護キャリア開発委員会

組織

2020年度

認定看護師教育課程 教員会（当該教育機関内委員）

奈良間 美 保	京都橘大学看護教育研修センター	所長
多 田 千和子	京都橘大学看護教育研修センター	准教授（皮膚・排泄ケア認定看護師）
中 務 直 美	京都橘大学看護教育研修センター	講師（皮膚・排泄ケア認定看護師）
上 澤 悦 子	京都橘大学看護学部看護学科	教授
藤 本 幸 三	京都橘大学看護学部看護学科	教授
マルティネス 真喜子	京都橘大学看護学部看護学科	准教授
長 尾 匡 子	京都橘大学看護学部看護学科	専任講師

看護キャリア開発委員会

奈良間 美 保	京都橘大学看護教育研修センター	所長
梶 谷 佳 子	京都橘大学看護学部長	
松 本 賢 哉	京都橘大学看護学部看護学科	教授
竹 下 夏 美	京都橘大学看護学部看護学科	准教授
中 橋 苗 代	京都橘大学看護学部看護学科	准教授
清 水 彩	京都橘大学看護学部看護学科	准教授

認定看護師教育課程

認定看護師教育課程

1. 認定看護師教育課程 皮膚・排泄ケア認定看護師分野の研修について

2020年度認定看護師教育課程皮膚・排泄ケア分野では、2.9倍の受験倍率を経た30名が入学した（14期生）。今年度は全国の教育機関が、前年の2校から4校に増えたことで受験の倍率は低下した。しかし、皮膚・排泄ケア認定看護師のニーズは変わらず高く、当学を受験し入学する研修生は関西圏のみならず全国から集まっている。

本課程は当初、入学を2020年5月13日、修了を12月19日に予定していた。しかし、COVID-19感染拡大により開講の可否について検討した結果、感染対策マニュアルを作成し2020年7月1日からの開講を決定した。これにより研修期間は2020年7月1日から2021年2月19日となった。

開校後最初の2週間は遠方の研修生は京都に居住の上、オンライン（同時双方向）による授業を行った。感染対策に万全を期して7月15日に入学式を挙行、集合による対面授業と一部オンラインによる授業を開始した。7月から10月までの講義期間の前半は、共通科目・専門科目の基礎知識を学び、後半は学んだ基礎知識を応用できるよう、臨床で活躍する皮膚・排泄ケア認定看護師を講師にした学内演習や実技演習を行った。演習やグループワークではソーシャルディスタンスやフェイスシールドの使用など、更に感染対策を強化した。11月2日から12月18日までは180時間の臨地実習を行った。COVID-19の影響により医療現場は逼迫し、例年よりも実習施設の確保が困難だったが、近隣の病院施設の協力を得て予定通り実習ができた。実習では臨床における皮膚・排泄ケア認定看護師の役割である実践、指導、相談を学ぶとともに、自己の課題を明確化することができた。実習終了後は実習の振り返りとケースレポートの作成・発表を行い、2月5日に修了試験を行っ

た。

研修生30名のうち、1名は自己都合による休学、1名は臨地実習の未履修により、次年度に履修することになった。28名はすべての科目試験、臨地実習、修了試験に合格し修了することができた。これにより修了生は通算387名となった。

2. 認定看護師認定審査に対するフォローアップ研修

研修修了から日本看護協会の認定審査試験までにフォローアップ研修を行っている。研修の内容は、認定審査を仮定し修了生が相互に問題を作成、解答と解説を行う。これにより審査に向けて自己に足りない知識を再確認し、モチベーションを保つことを目的としている。

2020年はCOVID-19の影響により、5月に予定されていた認定審査が11月4日に延期となった。第13期（2019年度）修了生30名と12期生2名の認定審査全員合格に向けて、フォローアップ研修を4回実施した（2020年1月、3月、4月、10月）。また、4月から10月のフォローアップ研修のない期間にも模試を送付したり、研修生と連絡を取り合うことでモチベーションの維持に努めた。

2020年度の認定審査では受験した32名全員が合格した。

3. 修了生対象の第7回認定看護師フォローアップセミナーの開催

本課程では修了生のブラッシュアップを目的にフォローアップセミナーを2年に1回開催している。本年度は2021年3月13日に「今こそ必要！皮膚・排泄ケア認定看護師のちから」をテーマに企画した。

皮膚・排泄ケア認定看護師は組織横断的に活動す

る機会が多く、日ごろより対人関係や組織の管理に対する悩みやストレスを抱えていることが多い。加えて今年度はCOVID-19感染流行に伴い医療従事者はこれまでにない緊張感を強いられ、疲弊する看護師も多い。しかし、このような非常事態だからこそ、看護はその専門性を活かし患者に必要な看護を提供しなければいけない。修了生にはどのような時でも皮膚・排泄ケア認定看護師としての役割を果たし、前向きに活動して欲しいと願っている。これらより、下記の2点をセミナーの内容とした。①看護師のメンタルヘルスケアの基本を知り、自身のストレスマネジメントについて学ぶ、②最新の研究から皮膚・排泄ケア認定看護師の今後の活動の展望を知ること、また、先駆者の歩みを知ることによって個々のWOC活動を前向きに取り組む支えとする。

セミナー方法はZoomウェビナーによるオンラインとし、300人程度の参加を見込んでいる。

4. 教員の専門領域の活動について

【多田 千和子】

1) 京都橘大学看護学部・看護学研究科に対し、下記の講義を行った

①看護学部3回生

実践看護学Ⅲ-1「高齢者の皮膚疾患とその治療」1コマ

実践看護学演習Ⅲ「排泄経路を変向した人への看護」1コマ

②看護学部1回生

フィジカルアセスメントⅠ「体や臓器を守る仕組み：皮膚と膜」1コマ

フィジカルアセスメントⅡ「食物を摂取して、消化・吸収する仕組み (1)～(4)」4コマ

③看護学研究科

クリティカルケア看護学演習Ⅱ

「クリティカルな状況にある患者の病態や治療に伴う苦痛とその緩和」

創傷・皮膚統合性障害 (2回)・広範囲熱傷 (2回)

2) 以下の関連学術集會に参加し、最近の知見や情報収集を行い研修教育に活用した。

①第29回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集會 (オンライン)

②第22回日本褥瘡学会学術集會 (オンライン) 評議委員会 (オンライン) に出席、ポスターセッション座長を務めた

③第1回日本フットケア・足病医学会年次学術集會 (オンライン)

④第38回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学術集會 (オンライン)

【中務 直美】

1) 以下の関連学術集會に参加し、最近の知見や情報収集を行い研修教育に活用した。

①第29回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集會 (オンライン)

②第22回日本褥瘡学会学術集會 (オンライン)

③第1回日本フットケア・足病医学会年次学術集會 (オンライン)

④第38回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学術集會 (オンライン)

⑤第18回日本褥瘡学会近畿地方会 (オンライン)

看護教育研修センター 准教授
皮膚・排泄ケア認定看護師 多田 千和子

看護キャリア開発事業

看護キャリア開発事業

京都橘大学看護教育研修センター所長

奈良間美保

2020年度当初、看護キャリア開発事業として、たちばなSIM、看護倫理研修、学修成果レポート作成スタート支援講座を計画しておりました。一方、前述のようにCOVID-19の拡大を受けて、各研修会の開催や方法について、慎重に検討いたしました。京都橘学園全体の方針に基づき議論を重ねた結果、最終的には感染拡大を最小限に抑えるとともに、医療現場の逼迫状況を鑑み、研修会の中止という決断に至りました。なお、学修成果レポート作成スタート支援講座につきましては、通信教育課により、学位申請ガイダンス、レポート作成ガイダンス、文献検索方法についてWEBでの配信・資料公開が行われました。また、たちばなSIMに関する卒業生に対

するアンケートを行い、来年度の事業計画の方向性を見出すことができました。詳細は、来年度の活動とともにご報告いたします。今年度、本センターの看護キャリア開発事業への参加をご予定いただいた看護職の皆様には、大変ご迷惑をおかけしました。本センターでは、これらの経験を今後の活動に繋げられるよう努めて参ります。

2021年度は、卒業生をはじめとする多くの看護職の皆様のご期待に応えられるように、そして、オンラインの活用等を含め、より安全で有意義な研修の在り方を検討して参ります。本センターの研修等にご参加いただけますことを心よりお待ちしております。

京都橘大学看護教育研修センター 年報2020

発行：2021年3月

発行・編集：京都橘大学看護教育研修センター

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町34

Tel & FAX：075-574-4133

E-mail：cpdn@tachibana-u.ac.jp

URL：http://www.tachibana-u.ac.jp/about/nursing/